

2025 年度大学院入学試験出題の意図および評価のポイント

秋田公立美術大学大学院のアドミッション・ポリシーを踏まえたうえで、以下のとおり出題した。

1 出題の意図（グループディスカッション）

(1) 修士課程一般選抜（第1期募集）

「複合」という言葉は、ややもすると単に異なるものを組み合わせることを想起させる。しかし本学の複合芸術研究科では、そのような単なる組み合わせをもって複合芸術とはしていない。世界中で散見される分断という現象に transdisciplinary arts としての複合芸術がどのように活用できるのか、本問題ではそれを問うている。

(2) 修士課程一般選抜（第2期募集）

芸術表現は特定の文明圏の歴史的条件と深い関係性を持つだけでなく、人類共通の進化的条件から生まれたと考えられている。この問題では、そうしたヒトの認知能力の一つとして、他の霊長類との大きな差異をもたらす「想像力」の認識を取り上げた。そのねらいは、それぞれの受験生が自身の表現の認知的基盤をどのように他者と共有し、さらに自らの発言を別の専門性や特定の領域を超えた芸術やデザインの複合的探究に関連づけられるか、という能力を確認することにあった。

2 評価のポイント

- ・ 出題文の趣旨や背景を十分に理解しているか
- ・ 論理的かつ創造的な思考力を持っているか
- ・ 自身の専門分野への深い理解があるか
- ・ 異なる意見を持つ他者との対話において、積極性や協調性を発揮し参加者全員の考えを深めることのできる高いコミュニケーション能力があるか